

パリDAC通信

(2008年のODA額は史上最高に～DAC事務局による2008年ODAの速報値)

DAC事務局が公表した2008年ODA額速報値によると、2008年のODA額は史上最高となりました。

■ODA総額は前年比10%増加の約1198億ドル

2008年のDACメンバーのODA総額は約1198億ドルであり、実質ベースで10.2%増加し、史上最高額となりました。またODA総額のODA/GNI比はDACメンバー全体で0.3%となりました。二国間のプロジェクト、プログラム援助の実質ベースで12.5%の増加が主な要因です。

■上位5カ国は、米国、ドイツ、英国、フランス、日本の順

米国： 約260億ドル、前年より実質ベースで16.8%増、ODA/GNI比は0.18%。

ドイツ： 約139億ドル、前年より実質ベースで5.7%増、ODA/GNI比は0.38%。

英国： 約114億ドル、前年より実質ベースで24.1%増、ODA/GNIは0.43%。

フランス： 約110億ドル、前年より実質ベースで2.9%増、ODA/GNIは0.39%。

日本： 約94億ドル、前年より実質ベースで8.2%増、ODA/GNIは0.18%。

■米国は人道援助、日本は国際金融機関向け拠出・出資が増加

米国のODAは、特にサブサハラアフリカ向け(38.3%増)、後発開発途上国向け(40.5%増)を含め全地域にて増加、形態別には、緊急食糧援助を含む人道援助が42.5%増加しました。日本のODAの増加は、国際金融機関向け拠出・出資の増加が主な要因であり、2000年以降のODA減少傾向に歯止め(2005、2006年の債務削減分を除く)がかかりました。

■減少は、オーストリア、ノルウェーのみ

EU諸国では、ギリシャ(26.9%増)、英国(24.1%増)、ポルトガル(21.1%増)等を含む14カ国で増加、また非EU諸国では、オーストラリア(13.8%増)、カナダ(12.2%増)、ニュージーランド(11%増)、スイス(6.5%増)で増加しています。一方、オーストリア(14%減)、ノルウェー(2.4%減)の2カ国で減少しました。

■世界的な金融危機におけるODAの役割

OECD事務総長とDAC議長は、昨年10月、金融危機から「援助危機」を引き起こさないように、加盟国に援助増額の公約を再確認することを書簡で呼びかけました。特に今回は史上最高額を達成したことにより、今後もODAが危機による影響を緩和するカウンターシクリカルな役割を担う重要性を強調しています。

DAC事務局によるプレスリリースはこちら

(http://www.oecd.org/document/35/0,3343,en_2649_34487_42458595_1_1_1_1,00.html)

にてご覧いただけます。